

ハイキング同好会報告

番外編 漢拏山（ハルラサン）

第5支部 東邦化成株式会社

副理事長 磯部 進

平成16年6月12日 快晴

6月12日午前6時30分、前日より泊まっている済州市内のグランドホテルで朝食。食後、ホテル前のコンビニでミネラルウォーター3本とおにぎりを買い込む。午前7時、ガイドの李さんから太巻きとキムチを貰い、ホテル前からタクシーで出発。7時25分、観音寺登山口（標高620m）に到着。

7時30分、漢拏山頂を目指し出発。約1時間で耽羅溪谷（写真1）にて小休止。ここまでは緩い登りがだらだらと続いていた。これからいよいよ本格的に登り始める。軍のトレーニングか？若者が走って登って行く。何グループかを追い越したが、こちらも辛く、抜かれる方もすぐに道を空けない。いつもよりずっと早いペースで乾氏が先行する。軍？の若者が休んでいたのだから抜けた。向こうから挨拶して来たので、日本語で返した。9時40分、視界が広がり山頂が見えた（写真2）。比較的平らな巻き道を経て沢を渡ると立派な避難小屋があり、小休止。

ここまで2時間30分、乾氏はどこまで行っているのだろうか？さあ登ろう！しかし、階段状の登りだ。途中で大腿四頭筋の内側広筋（ないそくこうきん）が攣ってしまった。しばし休む。登るとすぐに攣る。しかし山頂で乾氏は待っているだろう。帰るに帰れず行くしかなかった。兎に角、十数歩登り、休むを繰返し30分。頂上が見えて来た（写真3）。しかしここから1時間も掛かってしまった。

午前11時25分山頂着（写真4）。乾氏を30分以上待たせてしまった。ガイドから貰ったのり巻きを食べる。うっ！油っぼい。3センチ程食べて止めた。山頂で韓国本土から登りに来た女の子（二人組）に声を掛けられた。「のり巻き如何ですか？私が作って来ました。」、思わず貰おうかと思ったが、どうせガイドのと同じだろうと思い、断った。二人（写真5）は美味しそうにきゅうりも食べていた。韓国の山登りでは太巻きにきゅうりが定番のようだ。

山頂はごった返している。落ち着いて観察すると、スーパーの買物袋に運動靴とかザックではなく、カジュアルなショルダーバックとか、山を舐めている連中が結構いる。ちゃんとトレッキングシューズにザックの組合せも多いが色々だ。11時55分、山頂を出発。合流地点の城板岳入口を目指した。